

<p>児童の実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な社会の事物や事象について興味・関心をもっている児童が多い。 ・「つかむ」、「調べる」、「まとめる」の学習過程を児童主体で行っているが、つかむの時点で学習の流れを理解できていない児童がいる。 ・資料を読み取る力が十分とは言えない。 ・資料やグラフなどを読み取り、課題を解決したり、選択、判断する力、思いや考えを表現することが苦手である。 		
<p>授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<p>視点1 上二小授業スタンダードの徹底</p>	<p>視点2 読み解く力の育成</p>	<p>視点3 「探究の時間」またはその他の教科との連携</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ」、「調べる」、「まとめる」の学習過程に沿って、見通しをもって学習を進めることができるよう、児童主体で学習計画を立てさせる。そのために、児童の意見を効果的にグループ分けしたり、必要な資料を提示したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な読み解く力の底上げを図る。そのために、教科書の「キーワード」を活用し、言葉の意味を理解させる。 ・基礎的な用語を定着させる。そのために、アンダーラインやサイドラインを引かせたり、まとめや振り返りの際に全体で確認を行ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年「昔の道具」 ・4年「都道府県」 ・5年「SDGs」 ・6年「江戸幕府の安定」などで、意図的に進めいく。
<p>その他授業改善に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを効果的に活用し、教科書や資料集の資料などを配付する。 ・児童の考えを全体で共有している。 ・個別最適化な学びとして、ドリルパークを活用し、個別の底上げを図る。また、習熟度の確認を行う。 ・社会科見学等で体験的な活動や学習を取り入れる。 		

